

指導教員名	山口 志郎
-------	-------

活動区分	高業活性化型	連携先	企業
	イベント企画型		
	イベント支援・運営型		

～ ネスタリゾート神戸社会共創プロジェクト ～

活動の様子



企画・活動概要

本プロジェクトは、ネスタリゾート神戸と連携し、テーマパークビジネスの課題に対する解決策を学生視点で提案する社会共創活動である。2025年9月30日に現地での導入研修(現場実習)とフィールドワークを実施し、ネスタリゾート神戸の施設理解を深めた上で、アンケート調査やグループワーク、その他就合施設のフィールドワークを通じて課題を抽出した。2025年12月11日に中間報告、2026年2月9日に最終報告会を実施し、試作品の作成を含めた具体的な提案をネスタリゾート神戸担当者へ提示した。

経緯・背景・目的

観光・レジャー施設においては、体験価値の向上やリピーター創出が重要な課題となっている。本プロジェクトは、ネスタリゾート神戸が抱える課題に対し、学生の視点から解決策を提案するとともに、現場実習や継続的な調査・分析を通じて実践的な学びを深めることを目的として開始された。本プロジェクトを通じて、スポーツ・観光・テーマパークビジネスの理解と課題解決能力の育成を目指した。



取り組む課題

主な課題は、来訪者満足度の向上および再訪意欲の促進である。具体的には、価格設定の最適化、待ち時間の価値転換、ブランド体験の強化、園内空間の回遊性向上といった観点から課題を整理した。また、施設の世界観を活かした体験設計や、若年層の行動特性に応じた仕組みづくり、実現可能性や運用面を踏まえた提案の具体化にも取り組んだ。

本学(学生)の役割

学生は、2025年9月30日の現場実習を通じて施設理解を深めた上で、フィールドワークおよびアンケート調査を実施し、データに基づく課題抽出と分析を行った。その後、チームごとにテーマを設定し、解決策の検討と提案を行い、試作品の作成や具体的な提案事項を通じて内容の具体化を図った。中間報告および最終報告に向けて提案を改善し、主体的にプロジェクトを推進した。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本活動を通じて、学生はフィールドワークやデータ分析に基づく課題発見力および論理的思考力を向上させた。また、中間報告(2025年12月11日)および最終報告会(2026年2月9日)に向けて提案をブラッシュアップする過程で、企画力やプレゼンテーション能力を高めた。さらに、企業との対話を通じて実現可能性を踏まえた思考力とコミュニケーション能力を身につけた。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
教授
山口 志郎 (ヤマグチ シロウ)
＜専門・担当科目等＞
スポーツイベントマネジメント、
スポーツ都市政策

<関係者・企業等>

ネスタリゾート神戸 テーマパーク統括部
小野里 尚樹 (オノザト ナオキ)、
松本 大輝 (マツモト ダイキ)、
山川 昇 (ヤマカワ ノボル)